

「自己チェックリスト」、約10年ぶりに蘇生(?)

最近、当HPでも時々触れていますが、「プロとは、自らを検証する勇気」がとっても大事な要因のように思っています。

こうした折、約10年前に共同研究で取り組んだ【 中村博志、阿部幸泰、他：「重症心身障害児(者)にかかわる職員のための 自己チェックリスト」、心身障害研究報告書、国立療養所重症心身障害研究会・編 重症心身障害児病棟における総括的療育内容に関する研究 - 自己チェックリスト作成に向けて - 平成4年度心身障害研究、143-148,1993. 】を、「みやぎ障害福祉メモ」のHP管理人である池先生(国立宮城病院小児科医)が、先生のHP上でhtml化して蘇生してくださり、アンケート集計もできるようにしたことをお知らせいただき、ありがたい限り。

「自己チェックリスト」は、このPの下欄からもアクセスできますので、ぜひ一度覗いていただければと思います。また、何も重症児施設に限らず、障害児、高齢者、等々と日々係わる方(家族も含め)が、自らの検証の参考・一助にいただければと思いますので、周りの関係の方々へもご紹介いただければと思います。

作成から約10年、「何でこんな項目が……」と思われるものもあるかと思いますが、当時そうした実情故にこうした「自己チェックリストが必要だったのだなあ」と、寛大・寛容なお気持ちでお目通し頂ければと思います。

余談ですが、ご指導いただいた中村博志先生(当時：国立療養所足利病院長、現：日本女子大学教授)には、この共同研究以外にも当時色々な共同研究に声をかけていただきましたが、それがきっかけで先生のご好意の援助を少し得て、当時は高価だったノートPC(ソニー-NV)を初めて自分用のPCとして購入(1991)したのを思い出します。今の私のPC人生(?)の出発だったかな。また、膨大なデータ打ち込み、統計処理には戸惑うことが多く、指導員仲間を次々共同研究班員に先生の承諾を得て加えていただきました。当時、先生は、「阿部君は次々陰武者を出してくるが、これまたよくやる影武者たち！」と仲間に声をかけて励ましてくださったことも思い出しました。

池先生のHPは、障害児関係サイトを、これでもか、これでもかと思うほど紹介いただき、重宝しています。

追伸：中村先生のHP、池先生のHPは、リンクPからアクセスできます。